



近年の犯罪は巧妙な手口のものが増えてきており、対象もお年寄りや子どもなどの弱者を狙った卑劣な犯罪も多く見受けられます。特に高校生以下の子どもの狙った犯罪は毎年増加しており、町内では昨年は22件、今年はすでに26件（6月21日現在）もの被害が出ています。では、被害を食い止めるにはどうしたらよいのでしょうか。

今回は区や学校での活動を紹介しながら、犯罪対策を紹介していきます。

# 特集 広げよう地域防犯の目

## 不審者被害の

## 実例

町内でも不審者被害・目撃情報がたくさんあります。

### 実例 1

とき 午前8時15分  
 ところ 菱池字東部  
 被害者 高校生（女）

東部で信号待ちしていると、自転車で乗った45から50くらいの子が横に並び肩をたたきながら話しかけてきた。無視をしていたが、信号が青になり進もうとしたとき尻を触り走り去った。

### 実例 2

とき 午後3時  
 ところ 横落住民広場前  
 被害者 小学生（女）

一人で下校途中、男が運転席の窓を開け、腕をつかもうと手を伸ばしてきた。防犯ブザーを鳴らそうとしたところ、男はすぐにとっていった。

### 実例 3

とき 午前8時10分  
 ところ 菱池字下田  
 被害者 中学生（女）

登校途中、後ろを学校付近までつけられた。学校に到着後、

男は引き返していった。

### 実例 4

とき 午前8時15分  
 ところ 鷺田保育園付近  
 被害者 高校生（女）

幸田駅から自転車で登校中白い普通乗用車に追い越された。そのとき道路際に車をとめ、赤いカメラのようなものを向けてきてシャッターの音がした。鷺田保育園付近で携帯を出すと逃げた。

手口はいろいろありますが、これらの事例から不審者対策を立てることもできます。

不審者に襲われたときは、防犯ブザーを持っていれば、ブザーを鳴らす。なければ大声を出して、周りの人に危険を知らせる。

小中学校やお店の中など人がたくさんいる場所に逃げ込む。などの行動をとると良いです。また、子どもを狙った不審者は登下校時間に多く出没します。



# 町内小中学校の 取り組み

## 不審者対策の 避難訓練

増え続ける不審者被害に歯止めをかけようと、昨年5月27日に町内小中学校としては初めて、不審者対策の避難訓練が南部中学校で行われました。



この訓練を通して明らかに  
なつたのは、

- ・いつ、どこで、何が起きたのかという警察への素早い通報が必要である
  - ・避難経路を事前に確認する
  - ・不審者をさらに興奮させない
  - ・安全にできるだけ早く避難する
- ということでした。

最近、子どもに対する犯罪は全般的に増えています。

被害の種類としては、露出と声かけが全体の半分を占め、続いて痴漢、盗撮、付きまといとなります。場所は、人通りの少ない所で多く被害が出ており、子どもたちが下校する時間帯に多く発生しています。

まず、第一に不審者を寄せ付けない環境を作ることが大切です。町全体で監視し、犯罪を防ぎましょう。

子どもたちには、「きょうはイカのおすし」と覚えてもらいましょう。



岡崎警察署 生活安全課  
生活安全係  
あんど う まこと  
安藤 真 係長

**きよ** 不審者と**きよ**りをとる。

**う** うしろはよく気をつける。

**は** 家にはやく帰る。

**イカ** 知らない人にはついて**い**かない。危険な場所には**い**かない。

**の** 知らない人の誘いに**の**らない。知らない人の車に**の**らない。

**お** おおきな声でさけぶ。

**す** 安全な場所に**す**ぐに逃げる。

**し** 家の人や先生に**し**らせる。



また、警察ではさまざまな被害に対して相談窓口を設置しています。

緊急の事件・事故 110番

被害少年相談フリーダイヤル 0120 - 7867 - 70

性犯罪被害相談 0120 - 67 - 7830

ストーカー対策室 052 - 961 - 0888

総合相談 052 - 953 - 9110

## 不審者に対応する 防犯教室

坂崎小学校では、町内で多発している小中学生を狙った変質者・不審者の事件から子どもたちを守るため、6月16日に親子で学ぶ防犯教室を行いました。

まず初めに、岡崎警察署のかたから話があり、幸田町の被害の現状について話してくれました。



また、知らないおじさんに声をかけられたときの対処法なども実践を通して行いました。

### パターン1 不審者

「僕の飼っている犬（猫）が逃げちゃったんだけど、一緒に探してくれない？」

子ども

「僕（私）では、探せません」

### パターン2 不審者

「お父さんが交通事故に遭って、お家の人が呼んでるから一緒に行こう」

「おうちの人が知らない人を使って息子を呼ぶことはない。車には絶対に乗らないこと。」

### パターン3 不審者

「駅はどこにあるの？教えてほしいから、車に乗って」

「お父（母）さんから知らない人にはついていっちゃいけないって言われてるから・・・」

パターン3については、

「道を聞かれたときは教えてあげてください。しかし、『車に乗って』だとか『一緒についてきて』などと言わ



れたときは断ってください」と説明されました。

続いて、もし捕まりそうになったときにどれだけ大声で助けを求められるかの測定を行い、最高で10デシベルを出した子どももいました。警察のかたは、

「助けを求めるときは90デシベル以上の声の大きさで叫んでください」と言われ、ほとんどの子が目標である90デシベルを超えていました。



最後は、不審者に捕まってしまったときの脱出法として、護身術を学びました。

護身術では、片手（両手）をつかまれた場合と前（後）から抱きつかれた場合を想定して行いました。

岡崎警察署のかたの話聞いて、身近で犯罪が起きていることが分かり、改めて「こわい」と思いました。悪い人はたくみに声をかけてきます。「今一人、一緒に犬を探してくれない？」とか、ついついついていってしまいうな言葉をかけてきます。私は知らない人に声をかけられても絶対についていけないと思えました。お母さんと一緒に護身術の実技を体験しました。できることなら、一生つかわないでいたいです。（児童の作文より）



## 地域の 取り組み

### 事業者による パトロール

また、各企業においても防犯の意識が浸透しています。特に、デンソーでは毎月5日、15日、25日（土日および夏休み期間は除く）に不審者の見張りパトロールを行っています。



この車でパトロールを行っています

午後3時から3時30分までは豊坂小学校の正門、ファミリア・マート幸田芦谷店前と芦谷公民館西交差点に立って見張りを、3時30分から4時までは各小学校の通学路を中心にパトロールを行っています。  
見張りやパトロールをすることで、不審者の減少はもちろん地域全体として防犯意識を高め

ることに協力しています。

### 防犯タスキ ウォーキング

昨年4月から約2,000人のかたに配布を行いました。児童・生徒に声をかけるなど子ども被害の多さは先にも述べましたが、特に多く発生しているのは、登下校の時間帯です。

防犯タスキは、夜間のウォーキングにはよく利用されていますが、朝や昼間にはあまり利用されていないのが現状です。子どもたちの登下校時に合わせ、散歩や買い物をするときにタスキを着用することで、不審者被害を食い止めることができます。タスキはあるがまだ使ったことのないかたは、思い切って肩にかけてみましょう。

### 子ども 11番って何？

「不審者に捕まってしまった人が多いところに逃げ込みたいけど、小中学校が近くになく、逃げる場所がない」

こんなときに活躍するのが子ども11番の家です。幸田町内には129戸に通学路子ども11番の家を委嘱しています。子どもが困ったときに駆け込んで助けを求められるように設置されています。不安や危険を感じたら、

近くの110番の家に駆け込みましょう。



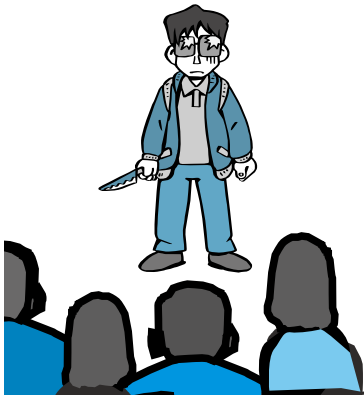
子ども11番の家にはこのステッカーが貼られています

### 不審者対策に 有効な地域の目

不審者対策には、防犯ブザーや護身術などさまざまな対応策が練られています。1番の対応策は地域全体で子どもたちを守ろうとする意識をもち、常に不審者を監視することです。

不審者は人から見られることを嫌います。地域の人たちが防犯の目を常に光らせていけば、子ども被害は今以上に減少することでしょう。

問合せ 総務課安全対策室  
(内線334)



## 町作成の 防犯グッズをおわけします

幸田町では下記の4点を防犯啓発物品として支給しています。

- 防犯タスキ
- 防犯パトロール用腕章
- 黄色帽子
- 防犯啓発マグネットシール(車外部用)

役場3階の総務課安全対策室にて無料配布していますので、お気軽にお越しください。

( 、 は区長さんを通じて申し込みください。)

